資料3

（１）交流促進に関する取り組み

②各地域の取り組みについて

一覧

○ 兵庫県
- 淡路花博2015花みどりフェア
- 淡路島名誉大使の委嘱
- 淡路島＆直島ツアー

○ 岡山県
- 「晴れの国おかやま」の観光振興

○ 広島県
- サイクリングロードの取組みについて

○ 徳島県
- 本四高速全国共通料金対応戦略
- 本四出資終了による新基金の創設

○ 香川県
- 瀬戸内海国立公園指定80周年記念行事（パンフレット配布あり）
- 四国八十八箇所と遍路道の世界遺産登録の推進
- 全国年明けうどん大会（仮称）の開催

○ 愛媛県
- 瀬戸内しまのわ2014
- 国際サイクリング大会
- 愛媛マルゴト自転車道

○ 高知県
- 四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会の活動
- 高速道路延伸に合わせた観光キャンペーン

○ 四国運輸局
- ビジット・ジャパン事業
- 瀬戸内海観光連携推進会議
- 「観光地ビジネス創出の総合支援」事業
- 鉄道及びフェリーによる物流、人流の状況等

○ 本四高速
- 「本四高速利用促進本部」の設置
- 利用促進に向けた取り組み

○ 四経連
- 西日本広域観光ルート
- 歴史文化道事業

兵庫県

2015 3.21(土・祝) — 5.31(日)

花みどりフェア

淡路花博2015

人と自然の共生のステージ

ようこそ、花の島へ。

淡路花博15周年記念事業実行委員会

花みどり フェア

淡路花博2015

人と自然の共生のステージ

会　期

平成27年 3月21日(土) ～ 5月31日(日)

基本テーマ

「人と自然の共生のステージ」

会　場

メイン会場

淡路夢舞台及び国営明石海峡公園（淡路地区）

サテライト会場

島内各地の観光施設等（写真は例示）

サブメイン会場

洲本市中心市街地エリア（三熊山、洲本城跡及び大浜公園など含む）

淡路ファームパーク・イングランドの丘エリア

1 淡路夢舞台温室

2 国営明石海峡公園

3 洲本城跡

4 淡路ファームパークイングランドの丘

5 美湯 松帆の郷

6 淡路ハイウエイオアシス

7 あわじ花さじき

8 北淡震災記念公園 野島断層保存館

9 淡路ワールドパークONOKORO

10 ウェルネスパーク五色（高田屋顕彰館）

11 うずしお科学館

12 淡路人形座

13 灘黒岩水仙郷

[メイン会場へのアクセス]

■お車でお越しの場合

【神戸方面より】神戸淡路鳴門自動車道　淡路I.C→ 国道28号を南へ約5分。

【徳島方面より】神戸淡路鳴門自動車道　東浦I.C→ 国道28号を北へ約10分。

■公共交通機関でお越しの場合

【大阪】大阪（阪急三番街）から阪急バス、淡路交通の高速バスで約60分。淡路I.C下車後、タクシーで約8分。

【新神戸・三ノ宮】本四海峡バス、西日本JRバスの高速バスで約50分。夢舞台前下車。

【舞子】JR舞子駅、山本電鉄舞子公園駅下車後、高速バスで約15分。夢舞台前下車。

【明石】明石港から淡路ジェノバラインで約13分。岩屋港下船後、タクシーまたは路線バスで約8分。

淡路花博2015 花みどりフェア

開幕1年前イベント

カウントダウンボード点灯!!

2014
3.21
金曜日・祝日
淡路夢舞台国際会議場
イベントホール

淡路花博2015開幕の1年前となる3月21日(金・祝)、
「淡路花博2015 花みどりフェア 開幕1年前イベント」を開催します。
津名高校ギター・マンドリン部・兵庫県警察音楽隊による記念コンサートや
「淡路島名誉大使」に就任する桂文枝師匠への委嘱セレモニーを行います。
皆さまお誘い合わせの上、ご来場下さい。

桂文枝さんに淡路島名誉大使委嘱式

「全国へ魅力伝える」

花博までの残日計を始動

淡路島名誉大使に就任する落語家、桂文枝さんへの委嘱式が21日、淡路市の淡路夢舞台国際会議場であった。「淡路花博2015花みどりフェア」の開幕1年前イベント。上方落語界の重鎮は豊かな自然と食材のPRに一役買う。

文枝さんは1966年に五代目文枝さんに入門。創作落語の名作を数多く生み出し、一昨年に大名跡を継いで六代目を襲名した。

同フェア開催を機に観光資源を発信しようと、テレビ番組の司会などでも活躍する文枝さんを起用。任期は約2年間でテレビCMなどに登場する。

この日、観客約300人に見守られ、井戸敏三知事から任命書を受け取った文枝さんは「淡路に来ると、美しい日本に帰ってきたような気分になる。全国に島のよさを宣伝したい」と抱負を語った。

続いて、井戸知事とともに開催までの日数を示す残日計の点灯ボタンを押し、本番へのムードを盛り上げた。(佐藤健介)

観光大使のクイーン淡路と「いらっしゃ～い」のポーズを取る桂文枝さん＝淡路夢舞台国際会議場

〔平成26年3月22日(土)　神戸新聞〕

"Red Pumpkin"©Yayoi Kusama,2006 Naoshima Miyanoura Port Square photo:Daisuke Aochi

感動体験 チャーター船アイランドブリーズ号で行く
アートの旅 瀬戸内島めぐり

淡路島＆直島ツアー

宿泊プラン 28,800円～31,800円

日帰りプラン 16,800円

ご予約・お問い合わせ

淡路夢ツアーズ（ウェスティンホテル淡路内） ☎0799-74-1111（代表）

旅行企画・実施　淡路夢ツアーズ　兵庫県知事登録旅行業 第2-685号　〒656-2306 兵庫県淡路市夢舞台1番地

感動体験 チャーター船アイランドブリーズ号で行く
アートの旅 瀬戸内島めぐり

淡路島＆直島ツアー

募集人数 大人52名様

宿泊プラン

1泊2日 4食付

旅行代金
お1人様（2名1室） 28,800円
お1人様（1名1室） 31,800円

出発日
2/22(土)
3/1(土) 8(土) 14(金)
25(火) 28(金)

スケジュール

1日目
新神戸(12:30) ═══ JR神戸駅(13:00) ═══ 淡路島 観光地の見学 ——— とれたて野菜＆ケーキセット〈のじまスコーラ〉(ディー) ═══ ウェスティンホテル淡路(17:00) ——— 奇跡の星の植物館など自由行動 ——— ホテル2Fファンダイニング「コッコラーレ」にてブッフェ(19:30)(夕食)
奇跡の星の植物館 入館券付　ウェスティンホテル淡路 泊　朝× 昼× 夕○

2日目
ホテルにて和洋ブッフェ(7:00)(朝食) ——— ホテル正面玄関集合(8:00) ═══ 淡路交流の翼港(8:10) ～～～ チャーター船で約2時間 ～～～ 直島 宮浦港(10:30) ═══ つつじ荘 ——— ナオシマ トラットリア アンド ギャラリー レガロ にて(昼食) ——— 自由行動（家プロジェクト鑑賞） ——— 宮浦港(16:30) ～～～ チャーター船で約2時間 ～～～ 淡路交流の翼港(18:40) ═══ 高速バスにて各自神戸方面へ
家プロジェクト共通券、高速バスチケット付　朝○ 昼○ 夕×

日帰りプラン

ランチ付コース料理

旅行代金
お1人様 16,800円

出発日
2/23(日)
3/2(日) 9(日) 15(土) 26(水) 29(土)

スケジュール
ホテル正面玄関集合(8:00) ═══ 淡路交流の翼港(8:10) ～～～ チャーター船で約2時間 ～～～ 直島 宮浦港(10:30) ═══ つつじ荘 ——— ナオシマ トラットリア アンド ギャラリー レガロ にて(昼食) ——— 自由行動（家プロジェクト鑑賞） ——— 宮浦港(16:30) ～～～ チャーター船で約2時間 ～～～ 淡路交流の翼港(18:40) ═══ ウェスティンホテル淡路前にて解散
家プロジェクト共通券付　朝× 昼○ 夕×

ツアー参加の方へ オプションのご案内

連泊・後泊の特別料金（朝食付）
お1人様（2名1室） 8,400円
※1名利用の場合、3,000円追加

ご夕食のお料理 10%割引（予約制）
コッコラーレブッフェ
または 日本料理あわみテーブル席

※悪天候・高波が予想される場合、安全確保のため、予告無くバスツアーに切り替わる場合があります。その場合、淡路島到着時刻が21時になりますのでご了承ください。 ※直島での移動は公共交通機関が少ない為、徒歩での移動が多くなります。あらかじめご了承ください。また、高齢者、妊娠されている方、心臓疾患のある方、歩行に介助が必要な方は、ご参加をご遠慮ください。 ※当日の集合場所につきまして、詳細はご予約の際にご案内いたします。
※上記スケジュールは天候及び道路状況、その他諸事情により変更または中止になる場合がございます。 ※掲載プランはいずれも小学生以下のお子様のご参加はご遠慮いただいております。 ※旅行代金に地中美術館、李禹煥美術館、ベネッセハウスミュージアムの入館料は含まれておりません。 ※詳細は、出発前までに旅行条件書にてご確認いただけます。 ※旅行代金には税金・サービス料が含まれております。 ※最少催行人数20名/添乗員同行

ウェスティンホテル淡路までのアクセス

JR舞子、三ノ宮、新神戸の各駅から高速バスに乗車し、「淡路夢舞台前」で下車。

- JR舞子駅から約15分
  ※ JR舞子駅へは…
  新神戸駅から約30分
  三ノ宮駅から約25分
  西明石駅から約10分
- JR三ノ宮駅から約45分
- JR新神戸駅から約60分

ご予約・お問い合わせ 淡路夢ツアーズ（ウェスティンホテル淡路内）

TEL 0799-74-1111（代表） FAX 0799-74-1100
www.awaji-yumetours.com

営業時間 10:00~18:00　お申し込みは出発前日から起算して7日前までお受けいたします。

旅行企画・実施　淡路夢ツアーズ 兵庫県知事登録旅行業 第2-685号 〒656-2306 兵庫県淡路市夢舞台1番地

山陽姫路東 IC
三木 JCT
神戸 JCT
西宮山口 JCT
池田 IC
吹田 IC・JCT
姫路 JCT
布施畑 JCT
大阪国際空港
永井谷 JCT
豊中 IC
垂水 JCT
西宮 JCT
伊川谷 JCT
中ノ島西 IC
名谷 JCT
神戸空港
東大阪 JCT
明石海峡大橋
淡路 IC
淡路交流の翼港
松原 JCT
北淡 IC
東浦 IC
津名一宮 IC
堺 JCT
関西国際空港
洲本 IC
西淡三原 IC
大鳴門橋
淡路島南 IC
鳴門北 IC
鳴門 IC
徳島空港

淡路夢舞台
ウェスティンホテル淡路
淡路交流の翼港

岡山県

第１回　環瀬戸内海地域交流促進協議会

「晴れの国おかやま」の観光振興

平成26年3月27日

岡　　山　　県

岡山県の観光資源

西日本屈指の高原リゾート「蒜山高原」

１０００年の伝統を誇る「備前焼」

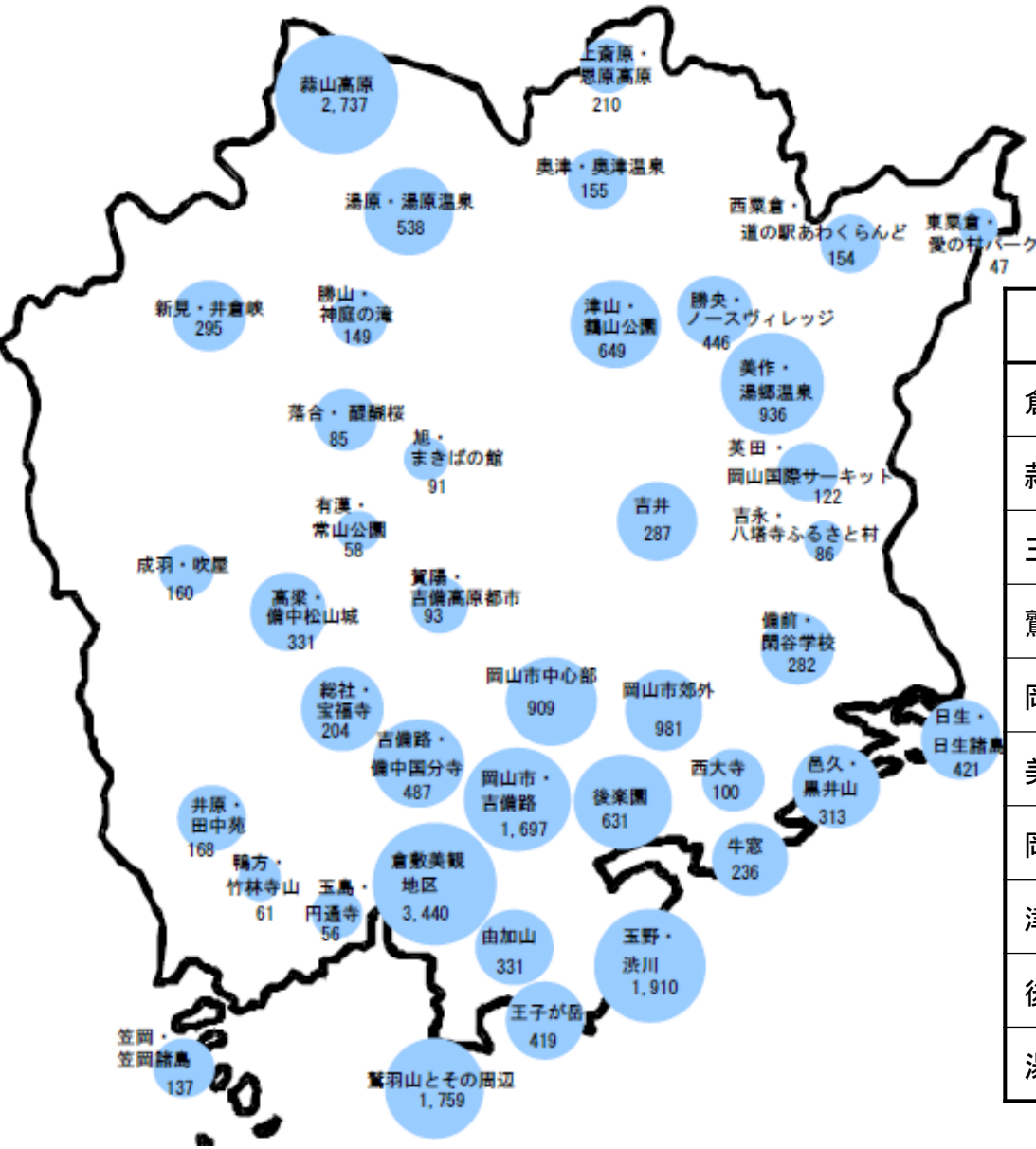
吉備路のシンボル「備中国分寺五重塔」

「清水白桃」生産量全国第１位

日本３名園の一つ「岡山後楽園」

江戸時代にタイムスリップ「倉敷美観地区」

主な観光地別の観光客数



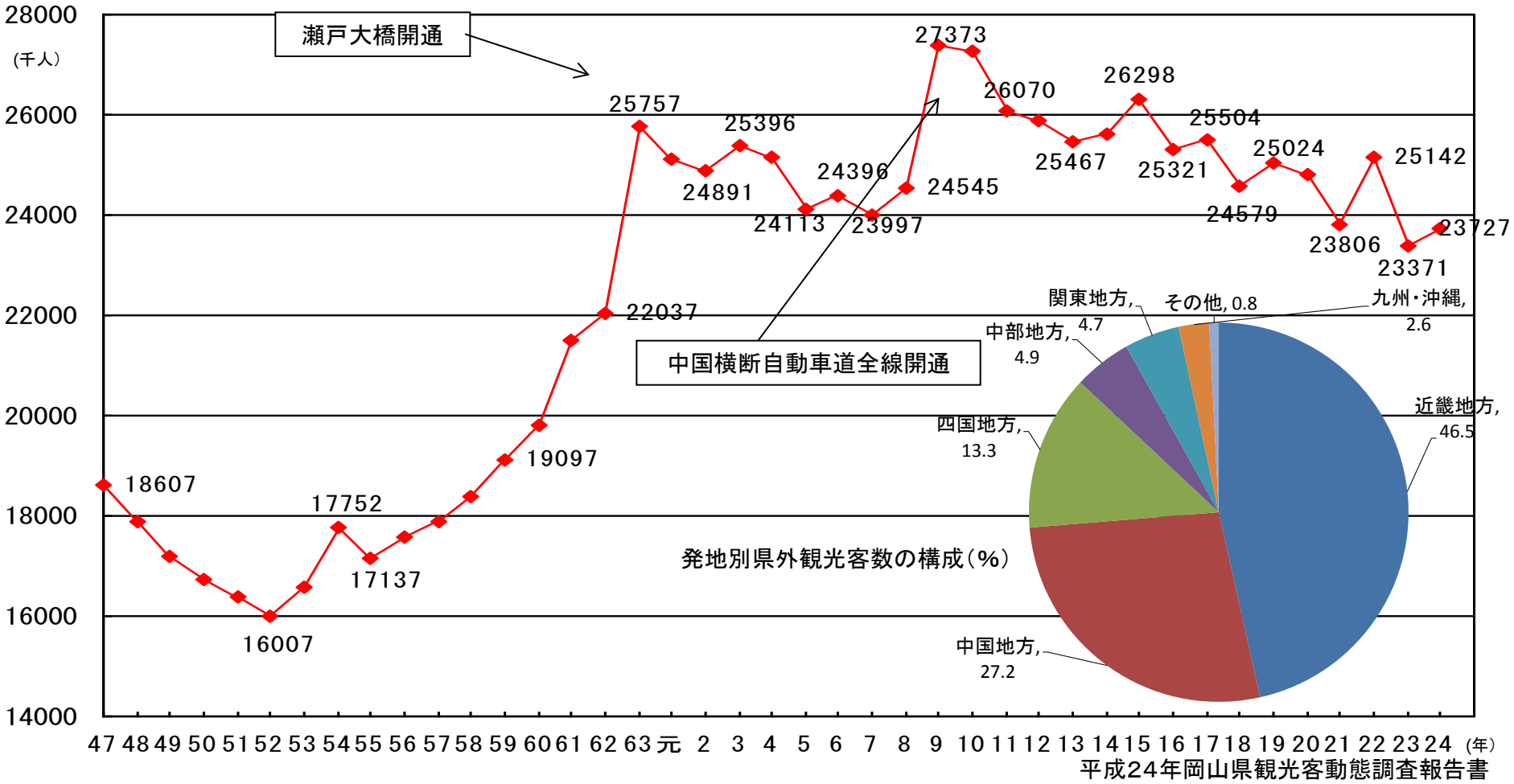
（単位：千人、％）

観光地名	平成23年	平成24年	対前年比
倉敷美観地区	3,230	3,440	106.5
蒜山高原	2,835	2,737	96.5
玉野・渋川	2,084	1,910	91.7
鷲羽山とその周辺	1,362	1,759	129.1
岡山市・吉備路	1,664	1,697	102.0
美作・湯郷温泉	954	936	98.1
岡山市中心部	903	909	100.7
津山・鶴山公園	694	649	93.5
後楽園	664	631	95.0
湯原・湯原温泉	613	538	87.8

平成24年岡山県観光客動態調査報告書

観光客の推移等

総観光客数の推移



平成24年岡山県観光客動態調査報告書

○平成9年をピークに横ばい状態が続いている
○近畿、中国、四国地方からの観光客が約87%と大半を占めている。

晴れの国おかやま生き活きプラン

重点戦略Ⅰ

教育県岡山の復活

1　学力向上プログラム
2　徳育推進プログラム

重点戦略Ⅱ

地域を支える産業の振興

1　企業誘致・投資促進プログラム
2　企業支援プログラム
3　観光振興プログラム
4　攻めの農林水産業育成プログラム
5　雇用拡大プログラム

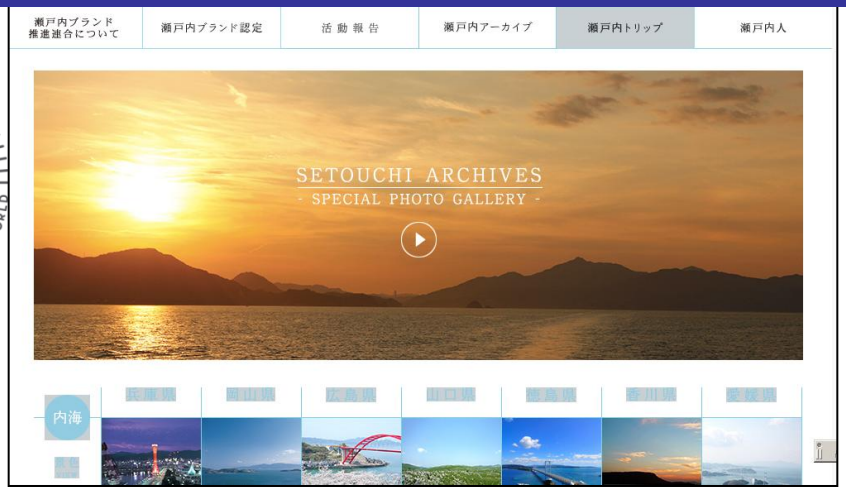
重点戦略Ⅲ

安心で豊かさが実感できる地域の創造

1　保健・医療・福祉充実プログラム
2　子育て支援充実プログラム
3　防災対策強化プログラム
4　暮らしの安全推進プログラム
5　中山間対策推進プログラム
6　快適な生活環境保全プログラム
7　生きがい・元気づくり支援プログラム
8　情報発信力強化プログラム

瀬戸内ブランド推進連合による取組

SETOUCHI 瀬戸内
THE INLAND SEA IS THE MOST BEAUTIFUL IN THE WORLD



【山口県】
周防大島
柳井
関門海峡
巌流島
フグ

【広島県】
宮島・厳島神社　尾道　カキ　鞆の浦
原爆ドーム　音戸の瀬戸　呉　お好み焼き

【岡山県】
瀬戸大橋　倉敷　牛窓　鷲羽山
果物　桃　児島ジーンズ

【兵庫県】
神戸　姫路城　明石大橋　淡路島　六甲山
イカナゴの釘煮　明石だこ　有馬温泉

【愛媛県】
しまなみ海道
道後温泉
鯛めし
今治タオル
松山城
鹿島

【香川県】
うどん　小豆島　直島　瀬戸内国際芸術祭　屋島
栗林公園　金刀比羅宮（こんぴらさん）　オリーブ

【徳島県】
渦潮　阿波おどり　鳴門鯛　眉山
阿波人形浄瑠璃　徳島ラーメン

瀬戸内海国立公園指定８０周年記念事業

備讃瀬戸ウォーク

瀬戸内海国立公園指定80周年記念 エコツアー事業

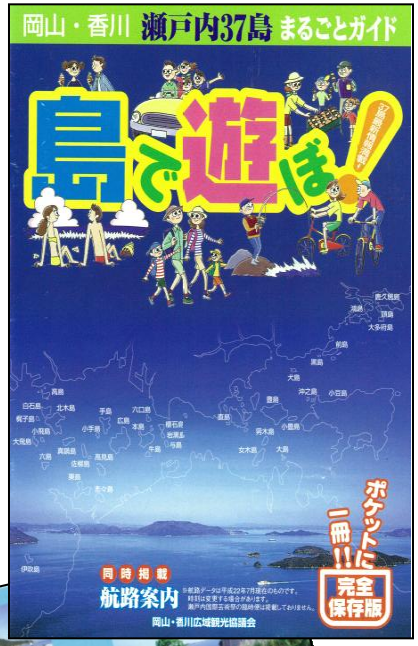
瀬戸内海国立公園は、昭和９年３月に我が国最初の国立公園として指定され、平成26年に80周年を迎えることから、記念事業として旅行会社と連携したエコツアーを実施します。

◎実施時期　７月以降　順次実施予定

◎県内外の一般旅行者向けのモデルツアー

◎実施主体向けのツアー
（実施主体：市町村、ＮＰＯ等）

香川県との連携事業



観光パンフレットの作成

瀬戸内ガールによる情報発信

兵庫県と連携事業

NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の両県のゆかりの地を共同PR

パンフレット

ホームページ

高知県との連携事業

岡山県立博物館

高知県立歴史民俗資料館

アンテナショップ開設

東京（新橋）に鳥取県との共同アンテナショップを開設

＜規模＞　941.35㎡（1階354.01㎡、2階587.34㎡）

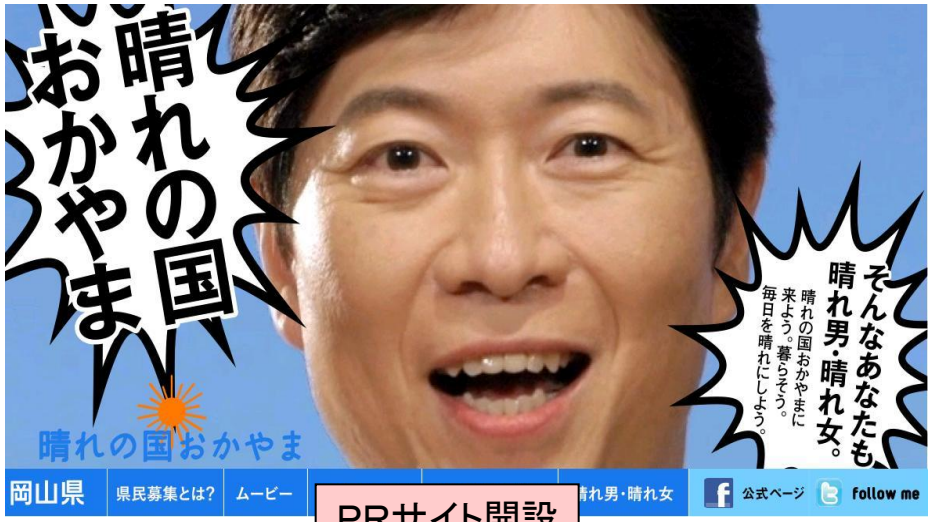
＜機能＞　物販店舗、軽飲食店舗、催事スペース、
観光・移住コーナー、ビジネスセンター

香川・愛媛共同ショップ「せとうち旬彩館」との相乗効果も期待

晴れの国おかやま情報発信プロジェクト

PR動画配信

晴れ男・晴れ女によるPR活動



PRサイト開設

知事による観光プレゼンテーション

広島県

世界に誇るサイクリングロードの取組み

平成26年3月
広島県

～世界に誇るサイクリングロードの取組みについて～

■ 瀬戸内サイクリングロードの取組み

瀬戸内の地域特性を活かして，サイクリングという移動手段を観光資源として活用することで新たな集客・交流を図る。

瀬戸内サイクリングロード

- **しまなみ海道サイクリングロード**
- **とびしま海道サイクリングロード**
- **さざなみ海道サイクリングロード**
- **かきしま海道サイクリングロード**

主な取組

◆道路整備や標識設置など安全で快適な走行区間の確保
◆イベント開催やホームページの充実など集客拡大に向けた取組
◆サイクルスタンドの整備やレンタサイクルの充実など利便性向上

～世界に誇るサイクリングロードの取組みについて～

■ しまなみ海道サイクリングロードの特徴

- ●自転車のみで瀬戸内海を横断できる（自転車のみで四国に渡ることができる）
- ●「サイクリストの聖地」として国内外から高い評価を受けている
- ●平成24年度のしまなみ自転車道サイクリストは，推計17万人／年
- ●各種サイクリングイベントが多く開催され，更には世界的規模の国際サイクリング大会の開催がH26年10月に予定されている（参加者8千人規模，しまなみ海道本線をコースとして使用することを想定）
- ●また，H26年3月22日に，沿線の尾道市に自転車に乗ったままチェックインできる全国初のサイクリスト専用ホテルがオープン

取組内容

- ◆認定制度（ナショナルサイクリングロード（仮称））の創設
- ◆サイクリングフリー（自転車通行料金の実質無料化）

期待される効果

- ◆さらなるブランド力の向上
- ◆自転車利用者の利便性向上及び負担軽減

～世界に誇るサイクリングロードの取組について～

■ 認定制度（ナショナルサイクリングロード（仮称））の創設

我が国を代表する質の高いサイクリングロードについて，国内外から訪れる観光客がより安心して利用できる環境を創出するなど，観光客の誘致に向けた取り組みをさらに加速させる必要がある。

このため，認定制度（ナショナルサイクリングロード（仮称））の創設や，その制度の中で整備推進についての支援を国に対して要望している。

【現在までの整備状況】

路面標示（ブルーライン）

案内看板

サイクリングターミナルの設置

【今後整備していきたいもの】

ピクトサインの統一

【案】

案内看板の多言語化

【その他，想定される支援項目】
- ○国認定マークの作成
- ○海外への情報発信
- ○統一的な環境整備の推進
- ○ルート案内などの支援システム
- ○利便施設の充実

～世界に誇るサイクリングロードの取組みについて～

■ サイクリングフリー（自転車通行料金の実質無料化）の取組み

しまなみ海道の自転車通行料金を無料化にすることは，サイクリストの利便性向上やしまなみ海道の知名度向上に寄与し，しまなみを中心とした観光需要の拡大とともに，本線交通の増加にも繋がるものと考えている。

したがって，自転車通行料金の実質無料化に向け，沿線自治体や地元団体など関係機関と連携し，地元負担を含めたスキーム検討を行っている。

料金所における混雑発生状況

（　参　考　）

瀬戸内ブランド推進連合について

■ 瀬戸内ブランド推進連合

◆ 設立年月日及び構成

設 立　平成25年4月22日設立

構 成　兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県

役 員　会長：広島県知事、副会長：香川県知事、監事：岡山県知事

瀬戸内ブランド推進連合
会　長　湯﨑　英彦
副会長　浜田　恵造
監　事　伊原木　隆太

◆ 基 本 戦 略

① 瀬戸内域内や国内でのプロモーションを通じた瀬戸内ブランドの浸透・定着及び海外からの誘客促進

② 瀬戸内の魅力を体感する環境整備や観光プログラムの充実

③ 瀬戸内ブランド形成に向けた推進体制の構築

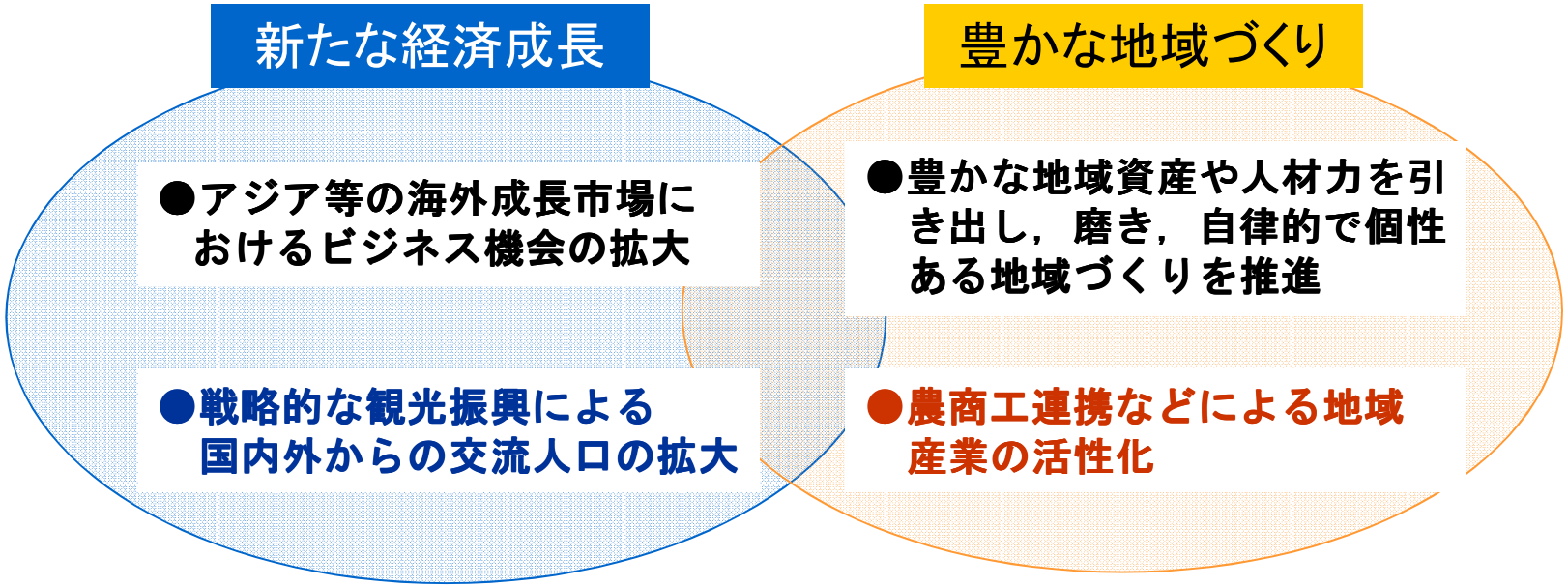
■瀬戸内ブランド形成に向けたアクションプラン（抜粋）

１　目指すべき姿

◆　世界に誇れる「瀬戸内」が，国内外の人びとに認知され，幾度となく訪れてみたい場所として選ばれています。

◆　民官が連携した地域資産の形成活動により，瀬戸内に一層の魅力が生まれ，観光関連産業が活性化しています。

◆　交流人口の増加による地域経済の活性化により，豊かな地域社会が実現できています。



2　取組期間

◆　取組期間は，地域ブランドの浸透・定着には長期間を要することから，平成24年度から平成32年度までの9年間とします。

◆　この9年間を「基盤づくり」「成長・拡大段階」「発展・定着段階」の3つのステージに分け，計画的に事業を推進していきます。

[取組期間]　　平成24年度～平成32年度（9年間）

第1ステージ H24～26 *《 基 盤 づ く り 》*			*第2ステージ H27～29* *《 成 長 ・ 拡 大 》*			*《第3ステージ》H30～32* *《 発 展 ・ 定 着 》*		
H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
◆域内プロモーション ◆推進体制の構築			◆瀬戸内の魅力を体感する環境整備や観光プログラムの充実 ◆国内・海外プロモーション			◆瀬戸内ブランドの発展・定着に向けた更なる取組		

3　基本戦略

◆　瀬戸内域内や国内で，瀬戸内ブランドの浸透を図りつつ，海外からの誘客を目指します。

◆　瀬戸内の魅力（クルージング，食，サイクリング，自然とアートなど）を体感する環境整備や観光プログラム（観光関連サービス，商品）の充実を図ります。

◆　瀬戸内ブランド形成に向けて，活動の土台となる推進体制の構築（主たるプレイヤーである民間企業及び地域住民等と7県とのネットワーク構築等）に取組みます。

【戦略1】プロモーション（瀬戸内ブランドの浸透・定着）

Act.1　域内プロモーション
Act.2　国内プロモーション
Act.3　海外プロモーション

【戦略2】瀬戸内の魅力を体感する環境整備や観光プログラムの充実

Act.4　滞在型クルージングリゾート「瀬戸内」の実現
Act.5　「瀬戸内の食」のブランド化の実現
Act.6　サイクリングの聖地「瀬戸内」の実現
Act.7　自然とアートの楽園「瀬戸内」の実現
Act.8　イベント連携

【戦略3】瀬戸内ブランド形成に向けた推進体制の構築

Act.9　アクションプラン策定・管理
Act.10　瀬戸内ブランドサポーターの結成・拡大

徳島県

本四高速全国共通料金対応戦略について　徳島県

本四高速全国共通料金対応戦略・第1弾

平成25年6月 徳島県

平成26年度は、本県が全国に先駆け「格差是正」を求めてきた「本四高速への全国共通料金制度の導入」の実現が見込まれている。
また、四国横断自動車道鳴門JCTから徳島ICまでの開通、松茂スマートICの設置などによる「徳島阿波おどり空港」との直結、更には沖洲ふ頭の耐震バース化により、陸・海・空の交通体系が大きく進化を遂げる。
この「千載一遇のチャンス」を最大限に活かすための幅広い「対応戦略」の第1弾として策定・推進する。

1）とくしま発信戦略　13事業　72,671千円

うち◆徳島県メディア戦略事業　当初予算　7,927千円
→ 大都市圏の影響力の強いメディア媒体への戦略的な広報活動

◆本四高速全国共通料金対応戦略スタートダッシュ事業　6月補正　16,000千円
〇とくしま戦略的プロモーション事業
→ 統一PRツールの作成や「すだちくん」を活用した徳島ファンの拡大

2）産業振興戦略　30事業　1,223,131千円

うち◆企業立地促進事業　当初予算　600,000千円
→ 県内で工場等を整備する企業に対する支援

◆本四高速全国共通料金対応戦略スタートダッシュ事業　6月補正　7,500千円
〇企業誘致戦略的発信事業
→ 県外企業に対するアンケート調査や首都圏で大きく向上する本県の立地環境のPRを戦略的に実施

3）観光交流戦略　58事業　339,925千円

うち◆魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客促進事業　当初予算　15,290千円
→ 観光誘客を促進するため、旅行会社や影響力のあるメディアとの連携

◆本四高速全国共通料金対応戦略スタートダッシュ事業　6月補正　1,260千円
〇「にし阿波 行ってなっとく！」誘客社会実験事業
→ 共通料金化のメリットを先取りして貰う社会実験調査

4）農林水産戦略　24事業　113,806千円

うち◆「飛び出す」ブランド産地育成事業　当初予算　14,900千円
→ プレミアム価値のある「とくしま特選ブランド」を創出する産地や団体を支援

◆本四高速全国共通料金対応戦略スタートダッシュ事業　6月補正　15,000千円
〇とくしまブランド食材お試し事業
→ 県産ブランド農林水産物の京阪神地域の飲食店への売り込みモデル事業

5）交通ネットワーク戦略　16事業　13,340,575千円

うち◆松茂スマートICへのアクセス道路整備　当初予算　786,885千円
→ 四国横断自動車道松茂スマートICへのアクセス向上

◆徳島小松島港沖洲ふ頭整備事業　当初予算　532,021千円
→ 大型船舶に対応した耐震バース化やふ頭整備

6）文化・スポーツ・にぎわい戦略　36事業　896,972千円

うち◆音楽文化が息づくまちづくり事業　当初予算　15,000千円
→ クラシック、邦楽などによる音楽文化が息づくまちづくりの推進

◆「四国の右下」かっさ！うまいもん体感事業　当初予算　3,000千円
→ 県南地域の食文化の発信・PR

7）広域医療福祉戦略　4事業　4,247千円

うち◆とくしまユニバーサルデザインマップ啓発推進事業　当初予算　2,488千円
→ 「とくしまユニバーサルデザインマップ」の充実と、関西圏に向けPRの実施

◆本四高速全国共通料金対応戦略スタートダッシュ事業　6月補正　1,000千円
〇県北エリア医療広域化推進事業
→ 県北エリアの新たな医療提供体制の紹介など効果的なPRの実施

◆当初予算対応　168事業　15,900,067千円

更に必要な対策の強化！

◆6月補正対応　13事業　91,260千円

戦略実現に必要な政策提言

◇本四高速全国共通料金制度の確実な導入について
→ 本四高速の料金は、平成26年度より全国共通料金を確実に導入

◇外国人観光誘客の推進
→ 訪日観光推進のための査証等の緩和や「無料WI－FI」環境の整備の推進

◇企業立地に関する支援の拡充や規制緩和の推進
→ 成長産業の立地促進支援や企業立地に関する規制緩和の推進

など

本四高速全国共通料金対応戦略「第2弾」

【平成25年度9月補正　19事業　予算額 97,155千円】

本年6月に策定した**「本四高速全国共通料金対応戦略（第1弾）」**の各種施策に加え、
「『おどる宝島！とくしま』キャンペーン戦略の構築」をはじめ、
「コンベンション誘致促進」、「県産品の販路拡大のための体制整備」など、
平成26年度の全国共通料金制度導入に向けて、更に迅速な対応が必要な施策を全庁を挙げて切れ目なく展開

とくしま発信戦略

新 「おどる宝島！とくしま」キャンペーン事業

（20,000千円　政創、商工）

旅行動態調査・分析やニーズを踏まえた「おどる宝島！とくしま」キャンペーン戦略の構築とプレキャンペーンの実施

新 みんなで「すだちくん」魅力発信事業

（4,400千円　農林）

県民や企業などによる「すだちくん」の魅力発信効果を高めるための、多彩な衣裳作成と機能アップ

他2事業　計29,720千円（政創、商工、農林）

観光交流戦略

新 徳島コンベンション誘致促進強化事業

（4,000千円　商工）

多くの宿泊が見込まれるコンベンション誘致に向けて会場使用料の助成などを実施

新 室戸阿南海岸国定公園指定50周年プレ事業

（3,800千円　南部）

平成26年6月1日に指定50周年を迎える「室戸阿南海岸国定公園」でプレ事業を実施

他3事業　計20,624千円（商工、県環、農林、南部）

産業振興戦略

新 情報通信関連産業・人材育成強化事業

（1,000千円　商工）

全国トップクラスのブロードバンド環境を活用した情報通信関連産業誘致促進のための、人材育成セミナーの実施

他2事業　計25,100千円（政創、商工）

農林水産戦略

新 「とくしま特選ブランド」需要開拓支援事業

（2,500千円　農林）

贈答需要をターゲットとした本県独自ブランド「とくしま特選ブランド」の販売体制の整備や、京阪神地域への情報発信

他1事業　計4,100千円（農林）

他 3戦略

5事業　計17,611千円
（保福、県土、教委）

対応戦略　第1弾 × 第2弾　→　**戦略を着実に推進し、徳島の更なる飛躍へ！**

本四高速全国共通料金対応戦略・「第３弾」

【平成26年度当初（2月補正含む） 150事業　予算額19,397,197千円】

平成２６年度の本四高速全国共通料金化の実現、本県の陸・海・空の交通体系の飛躍的進化、多彩な周年事業の開催、徳島ヴォルティスのJ1昇格など、ビッグチャンスを県勢飛躍につなげるため、挙県一致により「対応戦略」を本格展開。

１）とくしま発信戦略　11事業　97,824千円

㊕「すだちくん」活用とくしま発信事業　（24,500千円　農林）

「阿波おどり」と「すだちくん」との連携によるインパクトのある効果的な全国プロモーションの展開や、徳島ヴォルティス試合会場での情報発信を戦略的に展開し、県産農林水産物や本県の知名度の向上を図る。

２）産業振興戦略　25事業 1,448,706千円

企業立地促進事業費補助金　（800,000千円　商工）

企業立地を促進し、雇用の場の確保、地域経済の活性化を図るため、県内で工場等を整備する企業に対し補助を行う。
（自動車関連産業などの新規立地には補助率加算制度を創設）

３）観光交流戦略　47事業　838,928千円

㊕いよいよ本番!!「おどる宝島！とくしま」キャンペーン事業　（24,000千円　商工）

平成２６年度の様々なトピック（周年記念など）を活用し、「おどる宝島！とくしま」キャンペーンとして、様々な誘客施策を展開することにより、本県の宿泊者数の大幅な増加を図る。

４）農林水産戦略　19事業　117,782千円

「飛び出す」ブランド産地育成事業　（12,495千円　農林）

うち㊕「新鮮こだわり流通」実証事業　（1,000千円　農林）

県産野菜の付加価値創出を図るため、「朝採り野菜」の当日販売など、大消費地の実需者と連携した新たな流通システムの実証を行う。

５）交通ネットワーク戦略　17事業 15,824,609千円

「松茂スマートIC」へのアクセス道路整備　（386,650千円　県土）

本県の産業振興や観光交流に資する道路交通ネットワークの利便性を高めるため、四国横断自動車道松茂スマートICへのアクセス向上を図る。

６）文化・スポーツ・にぎわい戦略 26事業 1,044,442千円

㊕「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産チャレンジ・プロジェクト　（30,350千円　政創、教育）

世界遺産登録に向け四国４県・関係市町村が連携した調査を進めるほか、気運醸成を図るため、４県が協力した四国霊場開創1200年記念展示会開催や阿波遍路道を活用した遍路道ウォークイベント等を実施する。

７）広域医療福祉戦略　5事業　24,906千円

パーキングパーミット交付事業　（872千円　保福）

徳島ヴォルティスのJ1昇格などに伴う来県者増加の機会を捉え、制度導入府県における利用証の相互利用が可能であるパーキングパーミット制度について周知啓発を行う。

対応戦略　第１弾 × 第２弾 × 第３弾

戦略を着実に推進し、徳島の更なる飛躍へ！

愛媛県

瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会
実施計画書

CYCLING
SHIMANAMI
Ehime Hiroshima
Japan

【概要版】

平成26年3月17日

瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会実行委員会

1. 開催趣旨等

①大会の開催趣旨

1）地域の活性化

本大会は「瀬戸内しまのわ2014」のフィナーレを飾るイベントであり、戦略的・効果的なプロモーションのもと、国内外のサイクリストをしまなみ海道エリアに呼び込み、交流人口を拡大するとともに、イベント終了後も県・市町・住民等が一体となり、誘客に向けた継続的な取組みを展開することにより、しまなみ海道地域の活性化を図る。

2）自転車新文化の普及・定着

サイクリングが、“健康”、“生きがい”、“友情”を与えてくれるという「自転車新文化」と、“歩行者”、“自転車”、“自動車等”がお互いに思いやる「シェア・ザ・ロード」の思想を、広く普及・定着させるため、その契機となるイベントとして実施する。

3）世界への情報発信

しまなみ海道の美しい景観等の地域資源やポテンシャルを活かし、国内外から多くの参加者を集め、高速道路の車道を利用する等、海外からも注目を集める国際サイクリング・イベントを実施することにより、“サイクリストの聖地・しまなみ”を広く国内外にPRする。

②大会の特徴

1）日本最大級の国際サイクリングイベント

瀬戸内海国立公園指定80周年、瀬戸内しまなみ海道開通15周年を迎える記念の年に、愛媛県と広島県を結ぶ「瀬戸内しまなみ海道」を舞台に、国内外から8千名の参加者を迎える日本最大級の国際サイクリング大会を開催する。穏やかな海にたくさんの小さな島々が浮かぶ風光明媚な瀬戸内海を駆け抜けるサイクリングロードを「サイクリストの聖地」として広く世界に発信する。

2）しまなみ海道の絶景を堪能する多彩なコース設定

今治から尾道へ「瀬戸内しまなみ海道」を縦断するコースや島しょ部を周遊するロングライドコース、サイクリングとあわせフェリーで海を渡るクルージングコース、初心者やファミリーで参加可能なショートコースなど、技量や嗜好にあわせた10のコースを設定する。（ファンライドとしては最多のコース設定）

3）高速道路を規制して行う日本唯一のサイクリング大会

島と島をつなぐ個性あふれる橋を含む高速道路の走行がすべてのコースに含まれており、普段は自動車しか走ることができない道路で、開放感あふれるサイクリング走行を楽しんでもらう。高速道路区間が最長の、しまなみ海道を縦断するコースでは、マラソンとほぼ同じ43kmの高速道路を走行できる。

4）瀬戸内の島ならではのおもてなし

多島美をはじめとした自然景観、島ごとに受け継がれてきた人々の営みや歴史・文化、温暖な気候と豊かな自然に育まれたおいしい食べ物、そして何よりも島に暮らす人々の温かい心を島に設けられたエイドステーションやコース沿道からの応援で感じてもらえる、瀬戸内の島ならではのおもてなしを行う。

③大会ロゴ等

［大会ロゴマーク］

CYCLING
SHIMANAMI
Ehime Hiroshima
Japan

［ロゴタイプ］

CYCLING SHIMANAMI Ehime Hiroshima Japan　サイクリング しまなみ

［デザイン意図］
「自転車に乗る人々」、「しまなみの柑橘、海、島の見える景色」、「橋」、「島々」それらの要素と文字を一体化させてひとつのシンボルマークとした。

2. 開催概要

①大会概要

名　　称：瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会

サイクリングしまなみ（Cycling　Shimanami）

主　　催：瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会実行委員会
（会長　広島県知事、愛媛県知事）

後　　援：調整中

協　　賛：調整中

開催日程：平成26年10月25日（土）　受付・EXPO
平成26年10月26日（日）　大会当日
午前7時45分スタート～午後5時終了（メイン会場）
※メイン会場以外は、コースにより時間が異なります。

開催場所：瀬戸内しまなみ海道及びその周辺地域

大会会場：今治新都市第2地区　しまなみアースランド(今治市)

スタイル：レースではなく、サイクリングを楽しむ走行イベント

参加定員：8,000人

参加申込：インターネット等

募集要項の発表：平成26年4月中旬　※エントリー開始は5月を想定

［多々羅大橋］

②コース内容・参加費

コース名			走行距離	使用自転車	定員規模	スタート	高速本線利用区間			一般道利用区間	ゴール	参加料一般	参加料小中学生
国際サイクリングコース	A	COMPLETE SHIMANAMI 今治～尾道（片道）	65km	スポーツ	2,000人	今治IC	今治IC	⇒	因島南IC	因島→（因島大橋）→向島→（渡船）→尾道市街	みなとｵｱｼｽ尾道	10,000円	-
	B	IKUCHI 100 今治～生口島（往復）	100km	スポーツ	1,000人		今治IC	⇒	生口島南IC	生口島周遊→（多々羅大橋）→大三島→（大三島橋）→伯方島→（伯方・大島大橋）→大島→（来島海峡大橋）→今治市街	しまなみアースランド	8,000円	-
	C	YUMESHIMA 70 今治～弓削島（片道）	70km	スポーツ	300人		今治IC	⇒	生口島南IC	生口島→（フェリー）→生名島・弓削島周遊	弓削港	7,000円	-
	D	IWAGI 60 今治～岩城島（片道）	62km	スポーツ	200人		今治IC	⇒	生口島南IC	生口島→（フェリー）→岩城島周遊	岩城港	7,000円	-
	E	OMISHIMA 110 今治～大三島（往復）	111km	スポーツ	2,000人		今治IC	⇒	大三島IC	大三島周遊→（大三島橋）→伯方島→（伯方・大島大橋）→大島→（来島海峡大橋）→今治市街	しまなみアースランド	8,000円	-
しまなみ海道ふれあいコース	F	OMISHIMA to IKUCHI 15 大三島～生口島（往復）	15km	スポーツ軽快車	500人	多々羅しまなみ公園	大三島IC	⇒	生口島南IC	生口島→（多々羅大橋）→大三島	多々羅しまなみ公園	2,000円	1,000円
	G	HAKATA to IKUCHI 30 伯方島～生口島（往復）	30km	スポーツ軽快車	500人	伯方S・Cパーク	伯方島IC	⇒	生口島南IC	生口島→（多々羅大橋）→大三島→（大三島橋）→伯方島	伯方S・Cパーク	3,000円	1,500円
	H	OSHIMA to OMISHIMA 30 大島～大三島（往復）	30km	スポーツ軽快車	500人	宮窪石文化運動公園	大島北IC	⇒	大三島IC	大三島→（大三島橋）→伯方島→（伯方・大島大橋）→大島	宮窪石文化運動公園	3,000円	1,500円
	I	KURUSHIMA 25 来島海峡SA～大島（往復）	25km	スポーツ軽快車タンデム	1000人	来島海峡SA	来島海峡SA	⇒	大島南IC	大島周遊→（来島海峡大橋）→今治市街	糸山公園	2,600円	1,300円
	J	UNIVERSAL KURUSHIMA 8 来島海峡SA～大島（片道）	8km	競技用車椅子	Iコース1,000名の内数	来島海峡SA	来島海峡SA	⇒	大島南IC	※大島南ICで収容	大島南IC		

■参加資格

【全コース共通（Jコース除く）】

・健康な男女で、各コースを制限時間内に完走できる脚力を有し、安全な走行が可能と自己判断できる者
・実行委員会の定めた大会規約及び車種規定を承認すること

【A～Eコース】

高校生以上で、自己の責任で走行可能であり、60km程度のサイクリングイベントに参加し、完走経験がある者

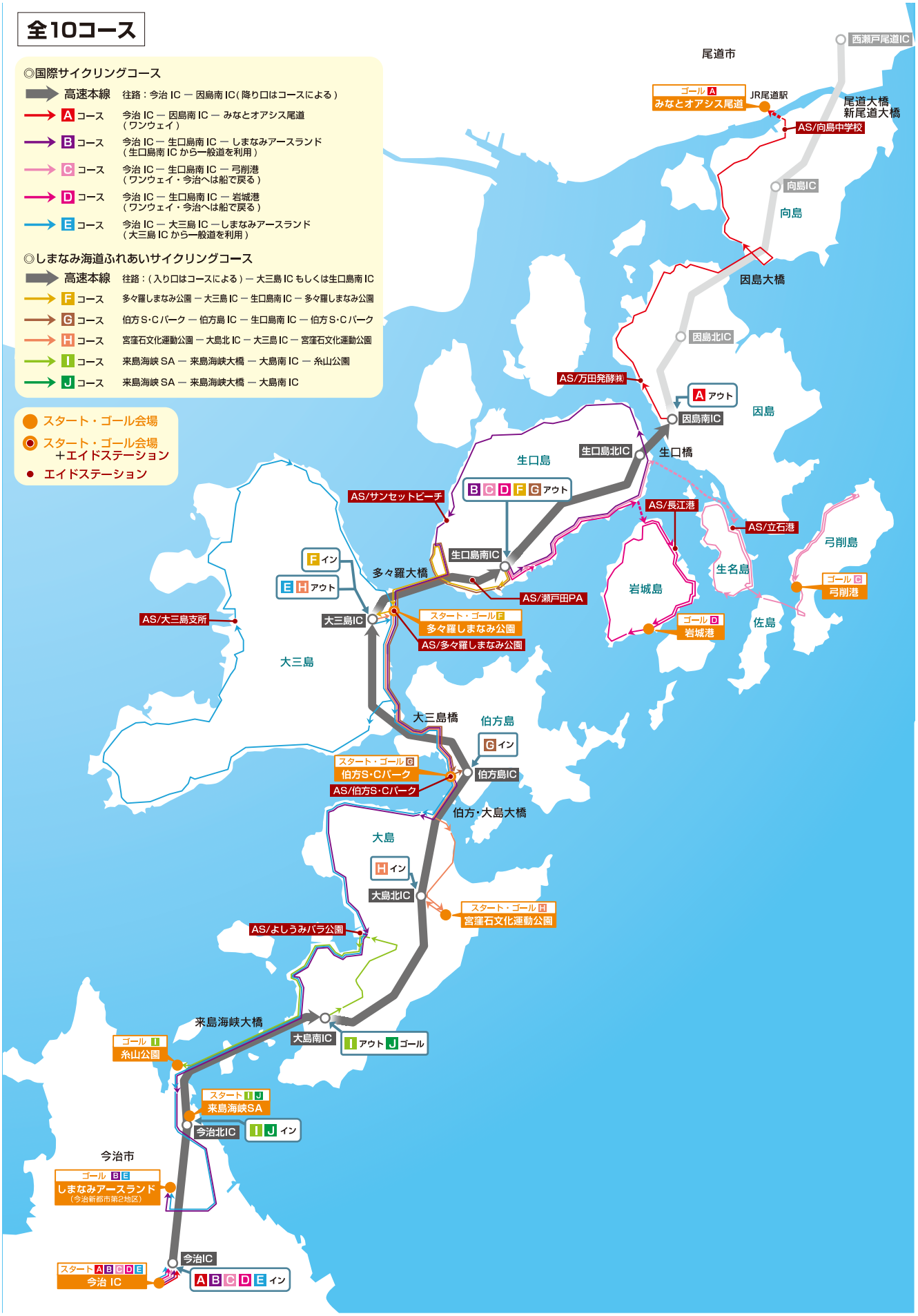
【F～Iコース】

小学校4年生以上で、自己の責任で走行可能である者。ただし、小・中学生は保護者・引率者といった責任を負える者の同伴が必要　（事前提出の誓約書に保護者・引率者の承諾を明記）

【Jコース】

競技用車椅子で、コースを制限時間内に安全走行で完走できる者（公募は行わない）

3. コース


全10コース
◎国際サイクリングコース
高速本線　往路：今治 IC ― 因島南 IC（降り口はコースによる）
A コース　今治 IC ― 因島南 IC ― みなとオアシス尾道（ワンウェイ）
B コース　今治 IC ― 生口島南 IC ― しまなみアースランド（生口島南 IC から一般道を利用）
C コース　今治 IC ― 生口島南 IC ― 弓削港（ワンウェイ・今治へは船で戻る）
D コース　今治 IC ― 生口島南 IC ― 岩城港（ワンウェイ・今治へは船で戻る）
E コース　今治 IC ― 大三島 IC ―しまなみアースランド（大三島 IC から一般道を利用）
◎しまなみ海道ふれあいサイクリングコース
高速本線　往路：（入り口はコースによる）― 大三島 IC もしくは生口島南 IC
F コース　多々羅しまなみ公園 ― 大三島 IC ― 生口島南 IC ― 多々羅しまなみ公園
G コース　伯方 S・C パーク ― 伯方島 IC ― 生口島南 IC ― 伯方 S・C パーク
H コース　宮窪石文化運動公園 ― 大島北 IC ― 大三島 IC ― 宮窪石文化運動公園
I コース　来島海峡 SA ― 来島海峡大橋 ― 大島南 IC ― 糸山公園
J コース　来島海峡 SA ― 来島海峡大橋 ― 大島南 IC
スタート・ゴール会場
スタート・ゴール会場＋エイドステーション
エイドステーション
尾道市
西瀬戸尾道IC
ゴール A みなとオアシス尾道
JR尾道駅
尾道大橋
新尾道大橋
AS/向島中学校
向島IC
向島
因島大橋
因島北IC
AS/万田発酵㈱
A アウト
因島南IC
因島
生口島
生口島北IC
生口橋
B C D F G アウト
AS/サンセットビーチ
AS/長江港
AS/立石港
弓削島
F イン
E H アウト
多々羅大橋
生口島南IC
生名島
ゴール C 弓削港
AS/瀬戸田PA
岩城島
AS/大三島支所
大三島IC
スタート・ゴール F 多々羅しまなみ公園
AS/多々羅しまなみ公園
ゴール D 岩城港
佐島
大三島
大三島橋
伯方島
G イン
スタート・ゴール G 伯方S・Cパーク
伯方島IC
AS/伯方S・Cパーク
伯方・大島大橋
大島
H イン
大島北IC
スタート・ゴール H 宮窪石文化運動公園
AS/よしうみバラ公園
来島海峡大橋
大島南IC
I アウト J ゴール
ゴール I 糸山公園
スタート I J 来島海峡SA
今治北IC
I J イン
今治市
ゴール B E しまなみアースランド（今治新都市第2地区）
今治IC
スタート A B C D E 今治 IC
A B C D E イン

高知県

高知・西南地域観光キャンペーン　楽しまんと！はた博
2013（7/1～12/31）

高知県西南部の六つの市町村（四万十市・宿毛市・土佐清水市・黒潮町・大月町・三原村）がある地域「幡多（はた）」といいます。黒潮・清流・里山．．．遠いからこそ残っている豊かな風景や人々の心を癒す「幡多時間」．．．そして、この地で暮らす人々によって培われてきた歴史や独特の文化を満喫いただくためのここでしか味わえない本物の自然の魅力たっぷりの観光キャンペーンが遂に開催します！

開催日時　2013年7月1日（月）～12月31日（火）

開催場所　高知県西南部の六つの市町村　四万十市・宿毛市・土佐清水市・黒潮町・大月町・三原村

問い合わせ先　窓口：幡多地域観光キャンペーン実行委員会
電話：0880-31-0233
メール：syuryo@hata-koiki.com
URL：http://hata-kochi.jp/

詳細リンク先　http://hata-kochi.jp/

高速道路の延伸を機として、幡多広域観光協議会を中心に幡多地域内6市町村や地域の観光関係者が一体となって取り組む、県内初の地域観光キャンペーンを実施。

【主な効果】

■観光客数	幡多地域観光施設の入込客数は前年度比16%増の146万5千人。 宿泊客数は同4%増の11万9千人。
■来訪者	県外観光客31%、県内観光客69%
■経済波及効果	約40億円

高知県東部地域博覧会の基本計画案 概要

開催の意義

観光をキーワードとした産業の振興や地域ブランドの創出をこれまでの地域の枠組の中で行うのではなく、広域でダイナミックに発信し、交流人口の増大を促していくことで、より一層の産業の活性化や地域文化の伝承につなげていく。

開催目的

①博覧会を通じて、来訪者と地域住民が交流を図り、「行ってみたい」「また来たい」と思ってもらえる取り組みを実施する。
②高知県東部地域のファンや移住者を増やし、産業振興や地域発展につなげ、将来に向けて持続可能な地域づくりを行う。
③高知県東部地域の自然や文化、産業や歴史、食などを通じ、新たな出会いや感動を生み出す。
④9市町村が連携をしてひとつの〝和〟になり、住民のおもてなしの気運を高める。
⑤博覧会で得られたノウハウにより、これからの地域を担う人材を育てていく。
⑥博覧会を機会に、高知県東部地域全体の観光案内やコーディネートができる組織をつくる。

集客目標

●2012（平成24）年度の観光客数に対して産直・宿泊施設10%増、施設20%増、イベント30%増を目指す

コンセプト

『高知県東部の人のおもてなしとジオの恵みにであう旅』

愛称

高知家・まるごと東部博

開催内容

拠点施設の設置、イベントの実施、体験プログラムの開発と実施、キャンペーンの実施、観光商品の開発

開催場所

安芸広域エリアの９市町村

室戸市・安芸市・東洋町・奈半利町・田野町・安田町・北川村・馬路村・芸西村

開催時期

2015（平成27）年4月中旬～12月下旬

開催主体

高知県東部地域博覧会推進協議会

誘客戦略

パビリオンやインフォメーションセンターとなる拠点施設を整備するとともに、期間中、地域外からの来訪者をターゲットにできるイベントや観光資源を活用した体験型ツアーを連続的に開催。この実施内容を県内外に積極的に広報し、多くの誘客を図っていく。

●広域周遊への誘導
●滞在型・体験型観光、着地型ツアーの実施

【ターゲット】
四国内、近畿中国地方を中心に、若者、家族、中高年など、あらゆる世代。

早期情報発信と広報戦略

地域内外の人々に対し東部地域博覧会を早期からPRして認知させ、地域住民や来訪者の期待感を高めていく。特に、来訪者には「行ってみよう」と行動に移してもらうことが重要。さまざまな媒体を通じ、コンセプトや理念に沿った統一したイメージを持つ広報戦略を行う。

住民参加・企業参加

各市町村に各種団体や住民などで構成する「東部地域博覧会推進委員会」を設置して、博覧会の企画・運営に対し、地域住民が積極的に関われる仕組みづくりを行っていく。また、資金やノウハウを提供してくれる企業を積極的に誘致。地元企業や関連団体、県内企業や高校、大学等に参加協力の呼び掛けを行う。

パビリオン

来訪者が特に予定を立てずに高知県東部地域を訪れたり、雨天対策でこのパビリオンに立ち寄ることで東部地域の魅力が分かり、博覧会の情報や特産品などが入手できる施設。

インフォメーション施設

高知県東部の9市町村の中で、駐車スペースや休憩、トイレ機能があり、東部の魅力やイベント、ツアーなどを紹介するインフォメーション的な役割を担う施設。

イベント

東部ならではの特徴を持つ地域資源を活かし、その魅力を最大限にアピールできるイベントを開催。既存イベントのブラッシュアップを図り、集客力の高い新たなイベントを創出し、実施することで東部地域の交流人口の拡大、ファンづくりを目指す。

プレイベント
本イベント
- ・オープニングイベント
- ・コアイベント
- ・地域イベント
- ・クロージングイベント

体験プログラム

地域資源を活かした体験を来訪者に提供することで、来訪者と地域の交流が生まれる。体験プログラムのキーワードは「人」。人と人が温かいつながりを持てるプログラムの新規開発、既存プログラムのブラッシュアップを行う。

新たな体験プログラムの開発
既存プログラムの活用と磨き上げ
体験プログラムの連携

キャンペーン

博覧会の期間中、何度も東部地域を訪れたくなるような工夫をしたキャンペーンの実施。また、実際に東部地域を訪れた来訪者から、イベントや体験、ツアーなどの意見を聞き、今後の取り組みにフィードバックさせる。

●東海岸パスポート
●地域売出キャンペーン
●モニターツアー
●大学生インターンシップ事業

旅行会社への売り込み

より多くのツアー客を呼び込むために、県外の旅行会社等に積極的な営業展開を行う。

着地型ツアーの開発

観光協会や地元団体の協力のもと、博覧会のコンセプトに合わせ、魅力的な地域資源、体験プログラムなどを組み込んだ、東部地域ならではのオリジナルツアーを開発する。

個人の来訪者への取り組み

モデルコースの設定、イベントや体験プログラムの情報提供、ウオークラリーの実施等。

投票数
14,314票（県内世帯数4.5％）

県民総選挙結果
「高知家グルメガイド」
平成26年4月上旬より
高知県内主要観光施設等で配布予定

【エリア別選挙結果】

H26.3.9 総選挙結果発表

東部エリア（廓中ふるさと館）

嶺北エリア（ひばり食堂）

仁淀川エリア（萩の茶屋）

幡多エリア（味劇場　ちか）

物部川エリア（麺屋・國丸　南国店）

高知市エリア＆総合1位（藁焼きたたき　明神丸）

高幡エリア（橋本食堂）

平成26年 **４月１日** より

本四高速料金が全国共通料金へ！

西瀬戸自動車道

（瀬戸内しまなみ海道）
西瀬戸尾道I.C～今治I.C 50分（59.4km）

新料金（ETC車）

【軽自動車等】
- 平　日……2,410円
- 土日祝……1,850円

【普　通　車】
- 平　日……2,890円
- 土日祝……2,260円

瀬戸中央自動車道

早島I.C～坂出I.C 28分（37.3km）

新料金（ETC車）

【軽自動車等】
- 平　日……1,850円
- 土日祝……1,590円

【普　通　車】
- 平　日……2,270円
- 土日祝……1,950円

神戸淡路鳴門自動車道

神戸西I.C～鳴門I.C 67分（89km）

新料金（ETC車）

【軽自動車等】
- 平　日……2,660円
- 土日祝……2,110円

【普　通　車】
- 平　日……3,280円
- 土日祝……2,620円

もっと気軽に、四国へ

EHIME

道後温泉

しまなみ海道とサイクリング

宇和島鯛めし

愛媛県の観光情報案内のことなら…

●いよ観ネット
http://iyokannet.jp

KOCHI

桂浜（坂本龍馬像）

日曜市

カツオのたたき

高知県の観光情報案内のことなら…

●高知県の観光情報ガイド「よさこいネット」
http://www.attaka.or.jp

KAGAWA

金刀比羅宮

栗林公園

讃岐うどん

香川県の観光情報案内のことなら…

●香川県公式観光サイトうどん県旅ネット
http://www.my-kagawa.jp

TOKUSHIMA

うだつの町並み

鳴門の渦潮

かずら橋

徳島県の観光情報案内のことなら…

●徳島県観光情報サイト 阿波ナビ
http://www.awanavi.jp/

四国８の字ネットワーク整備・利用促進を考える会
四国経済連合会・徳島県・香川県・愛媛県・高知県

四国運輸局

環瀬戸内海地域交流促進協議会
（説明資料）

四国運輸局

平成26年3月27日

①－１　四国における訪日旅行促進事業(VJ地方連携事業)の主な取組み

韓国・中国・台湾・香港の最重点市場を中心に地方公共団体・観光関係団体・経済団体などと連携し、ビジット・ジャパン地方連携事業を実施（国が総事業費の１／２以内の範囲を負担）

四国インバウンドフェア

商談会
＋
視察ツアー

中国・韓国・台湾・香港等6つの国と地域から旅行会社・メディアを招聘し、四国4県の観光地等のファムトリップ・商談会を実施。四国が一つとなって、知名度のアップ及び具体的な旅行商品の造成を図る。

海外旅行会社・メディア招請による事業

海外の旅行会社やメディアを招請し、四国各県の主要観光地等を視察してもらうことにより、現地消費者に四国の魅力を伝えるとともに、四国を目的地とした旅行商品の造成を目指す。

国際旅行博（香港・台湾）出展

本部事業と連携し、香港及び台北での旅行博に出展し、四国の観光地の魅力を紹介し、知名度アップ及び旅行商品の販売促進を図る。

訪日教育旅行誘致事業

韓国の教育旅行関係者を招請し、訪日教育旅行の誘致を促進。

①－２　H26年度　四国ブロックVJ地方連携事業　事業方針

１．四国の「強み」と「弱み」

１）「弱み」＝四国の厳しい現状
- ①　四国を訪れる外国人の数は約11万6千人で、日本全体に占める比率は0．49％（2012年外国人延べ宿泊数統計より。なお、国内旅行者を含む宿泊者数のウェイトは2．5％）
  - →　海外での認知度の低さ
    外国人旅行客受入体制の未成熟
- ○　公共交通機関のサービス水準、直行航空路線
- ○　大規模アウトレットが無いこと等の「買い物」環境

２）「強み」＝これからのセールスポイント
- ①　海、山、川などの自然の豊かさ（アウトドアレジャー、恵みの食）
- ②　お遍路文化等の独特のおもてなし文化　等

２．最近の動向

１）外国人旅行者の来訪の動向

直行便のある韓国、中国の占める割合が大きかったが、高松便が開設された台湾、訪日リピーターの多い香港が増加

特に、「訪日リピーター」が、新しい旅行先として四国に注目しつつあるという印象

２）本年度のVJ取組事例
- ①　ALL SHIKOKU Rail Pass の成功
- ②　しまなみサイクリング誘致促進事業の成功（LA所長に紹介頂いたサイクリング専門旅行会社等から高評価）
- ③　お遍路Figaro社招聘の成功（パリ事務所に紹介頂いたFigaro誌から高評価）

３．四国におけるVJ事業の当面の基本方針

VJ10年を迎え「訪日リピーター」が増加しているという外部環境変化を捉えて着実に四国への取り込みを増加させる観点から、四国の「強み」を活かし、「弱み」を克服していく取組を加速

★　国内他地域に勝てる四国の魅力をアピールするため、美しい自然に恵まれた、古き良き「四国の姿（＝Last Mystery Shikoku）」を基底としたPRを強化（サイクリング、トレッキング、アート等の新たな旅の魅力を活用）

★　受入体制（交通手段、情報提供等）の脆弱さを補う事業に取り組むとともに、認知度の低さをカバーするためにも瀬戸内を中心とする他地域との広域連携を強化

★　将来を見据えたマーケット拡大・多様化のための新しいチャレンジについても、並行して行っていく

①－３　H26年度　VJ地方連携事業　実施方針

1．国内他地域と勝負できる四国特有の魅力をアピール

訪日リピーター等を着実に四国に取り込む観点から、他の地域にはない、四国の特色を活かした旅の魅力をアピールすることとし、瀬戸内の多島美、四万十川・吉野川等の清流、開創1200年を迎える四国遍路、色濃く残る高地や島嶼部等の地域文化、自然環境や地域文化を背景とする食、現代アート、比類の無いスケールを有する本四架橋や豊かな自然を活用したサイクリングやトレッキング等のアウトドアレジャー等の地域の観光資源を効果的に活用する。

また、事業の実施に当たっては、ストーリー性が不明確にならないような丁寧なコース設定をするとともに、より具体的な成果につながるよう、招へい者の選定に十分に留意する。

2．受入体制の脆弱さを補う取組の強化

公共交通機関等における外国語対応や外国語での情報提供等の受入体制の脆弱性を補う観点から、レンタカー活用や外国旅行者向けの共通パス（ALL SHIKOKU Rail Pass）の普及拡大に引き続き注力する。

3．瀬戸内を中心とする広域連携強化

四国単体では外国における知名度は高いとは言えないこと、また、瀬戸内国際芸術際に引き続き、26年度も、瀬戸内海国立公園指定80周年を迎え瀬戸内各地で様々なイベントが予定されていることも踏まえ、瀬戸内を中心とする広域連携事業の拡充に取り組む。

4．将来を見据えたマーケットの拡大・多様化のための新しい取組

本年度は、政治状況から中国・韓国からの訪日外国旅行者の減少が目立つ一方で、定期便が開設された台湾からの旅行者が増加したが、依然として、四国への訪日外国人は、直行定期便が就航している限られた国に大きく依存している状況。

このような状況を踏まえ、上記の取組と並行して、他地域と比較して従来取組が弱かった、東南アジア市場、欧米市場に対して新たにチャレンジする。

② 瀬戸内海観光連携推進会議 （平成25年4月1日名称変更）

「瀬戸内海観光連携推進会議」
～近畿・神戸・中国・四国・九州の連携～

瀬戸内海観光連携推進会議

「平清盛」瀬戸内連携推進会議（平成23年7月設立）
を平成25年4月から名称変更および新ロゴ決定

主な実績

◆平成23年度事業
①「平清盛」関連広域情報の収集・発信環境の構築（HPなど）
②「平清盛」ゆかりの地相互PRの推進（23年12月）
③「平清盛」ゆかりの地の瀬戸内広域マップの作成（24年3月）
◆平成24年度事業
①クルーズ客船による瀬戸内広域クルーズの誘致
②せとうちサイクルーズPASSの実施エリア広域拡大（24年4月）
③瀬戸内クルーズ推進セミナー開催（24年10月10日）
④九州～関西広域インバウンド促進事業（VJ事業）の実施（24年10月～25年2月）
⑤寄港地データ情報発信（24年11月）

会議の概要

平成24年の大河ドラマ「平清盛」を契機に、瀬戸内海エリアの各地で取り組まれる「平清盛」推進事業の広域的サポートや瀬戸内広域連携施策の推進などを図っていくため、中国運輸局長の呼びかけにより、平成23年7月に同局と神戸運輸監理部、四国運輸局のトップで構成する『「平清盛」瀬戸内連携推進会議』を設立した。

平成23年11月には、近畿運輸局、九州運輸局が加わり、瀬戸内振興に係る地方運輸局の「西日本連携組織」として、取り組んでいるところ。

今年度の取り組み

◆平成25年度事業
①瀬戸内海モデルルート構築調査事業
瀬戸内海の既存の航路等を利用した船旅による 観光ルートを開拓し、期待される滞在型観光の促進を図る調査事業を実施する。
②瀬戸内海クルーズセミナー等（25年10月15日）
③西日本広域連携瀬戸内観光ルート定番化事業
日宋貿易でゆかりの中国上海近郊を中心に、中国のメディア関係者等を招請し、情報発信、旅行商品の共同広告等に取り組む。
④瀬戸内海船上でのクルーズ講演会の実施等
瀬戸内海を航行するフェリー船上において瀬戸内観光推進会議を開催、あわせて大阪府立大学大学院池田教授によるクルーズ講演会の実施等、瀬戸内クルーズの魅力をアピールした。（25年6月2日）

③－１　観光地ビジネス創出の総合支援（平成25年度補正予算事業：4億円）

【　概　要　】 観光を切り口とした地域の活性化を進めるために、地域の資源を活用した売れる旅行商品を開発するとともに、継続して観光地づくりに取り組む地域の担い手を育成し、自立的経営へ誘導することにより、観光地づくりをビジネスにつなげる取組を支援します。

【 対 象 事 業 】 地域経済の活性化を図るため、観光地域づくりの取組を進める主体が自ら着地型旅行商品の販路を開拓し、収益をさらなる着地型旅行商品開発に充てることが可能となるビジネスモデル構築を支援。

【 支 援 内 容 】 ・観光地ビジネスの専門家の派遣
・ビジネス化にあたっての問題・課題の整理
・観光地の担い手と専門家による勉強会・シンポジウムの開催

【 事 業 イ メ ー ジ 】

**春の旅行シーズンに各地域でモニターツアーを実施し、
地域経済の活性化につなげられるよう、観光地づくりのビジネスモデル構築を支援。**

①着地型旅行商品の開発

- ○食のメニュー開発　○お土産開発
- ○宿泊施設の確保
- ○体験プログラム開発
- ○ガイド養成　○旅行商品造成　等

②ビジネスモデルの構築

国
- ○観光地ビジネスの専門家の派遣
- ○ビジネス化にあたっての問題・課題の整理
- ○観光地の担い手と専門家による勉強会・シンポジウムの開催

地域
- ○開発した商品を軸としたビジネスモデルの構築

③ビジネスモデルの実証

地域
- ○地域関係者間の連携の拡充、モニターツアーの実施等による実証

観光地づくりのビジネス化を目指す全国の観光地に裨益

例①

- ○観光地ビジネスの主体と地域の事業者が協力して着地型旅行商品を開発。
- ○観光地ビジネスの主体が、地域の事業者から資金を集め、着地型旅行商品を取りまとめて販売。
- ○さらなる着地型旅行商品の開発が自立的に拡大。

例②

- ○観光地ビジネスの主体がインターネット等で地域の商品を販売し、収益を地域の商品開発に還元。
- ○さらなる着地型旅行商品の開発が自立的に拡大。

③－２　官民協働した魅力ある観光地の再建・強化（平成24年度補正予算事業）

○地域の特色ある素材の発掘や地域と旅行会社、交通事業者、旅行メディア等の総力を結集した枠組みによる確実な商品化と情報発信等を行い、魅力ある観光地づくりを推進する。

1．資源の発掘

○観光資源の「目利き」（※）による訴求性の高いコンセプトの設定
○「地域の担い手」から観光資源の提案

2．資源の磨き

○支援対象の選定
○「目利き」の派遣
○「地域の担い手」と「目利き」が一体となった資源の磨き

3．試行ツアー造成

○試行ツアーを実施し、市場の目を通した効果検証
○効果検証を踏まえた商品内容の改善
○商品化への絞り込み

※観光資源の「目利き」：旅行会社のバイヤー、旅行メディア、地域活性化プランナー　等

確実な商品化

観光資源の磨き上げ、試行ツアーによる効果検証を踏まえた観光資源の確実な商品化

地域の魅力の全国発信

本事業で磨き上げた観光資源と地域の魅力を商談会の開催等により全国に発信

③－３　モニターツアーを実施：官民協働した観光地づくり再建・強化事業

以下、モニターツアーは「官民協同した観光地づくりの再建・強化事業」の一環として、新しい観光地の魅力開発と旅行商品化のために実施しました。

食と文化の融合「秘境・祖谷　極上野外レストラン」

平成25年10月19日～20日
平成25年10月20日～21日

味覚だけでなく五感すべてでその土地を味わう旅
DINING　OUT　IYA　with　LEXUS　2日間

・祖谷地方で最も大きな武家屋敷、旧喜多家で開催される期間限定の野外レストラン、「DINING　OUT　IYA」に参加できる。
・東洋文化研究家のアレックス・カーがホストとなり、平家物語にちなんだ演奏など、この日だけのプレミアム名演出のある空間で、ディナーを堪能できる。
・2009年にミシュラン史上最短で三つ星を獲得した「HAJIME」のオーナーシェフ、米田肇が、地元の食材を用いて創作するオリジナルのコース料理が味わえる。
・ツアーでは、祖谷を愛するアレックス・カーがお奨めする祖谷ならではの貴重なスポットを自ら案内する。

瀬戸内アートクルーズ＆小豆島坂手港周辺ツアー

〔上期〕 平成25年10月5日～
　11月4日　の土・日・祝日

〔下期〕 平成25年11月16日
～12月15日　　の土・日・祝日

・通常は入れない「クルーズ船・操縦室」見学
・島民のみぞ知る「絶景＆パワースポット」巡り
・小豆島名物！醤油・そうめんづくり体験
・小豆島の地元素材を使った「島ごはん」ふるいまい

高知の交流型ベースボールツーリズム

①平成25年9月15日
②平成25年11月16日～17日

①高知ファイティングドッグス選手との感動交流日帰りモニターツアー
②越知町まるごと体験交流ツアー（仮）

①　高知駅集合
　→　越知町にて共同農作業体験地賛
　→　越知町にて共同でオリジナル地産地消昼食
　→　越知町での公式戦最終戦観戦

②　現地集合
　→　越知町にて野球教室・講演
　→　越知町にて共同農作業体験
　→　越知町にて共同でオリジナル地産地消昼食

忽那諸島のしまみがきと瀬戸内海テーマクルーズ

平成25年11月11日
あの時の「瀬戸内海・大和クルーズ
柱島連合艦隊泊地～陸奥記念館を訪ねて

平成25年11月3日
瀬戸内海パワースポットクルーズ
神の島3大スポットを巡って運気上昇！ほか

詳細は、タビカレホームページに掲載されています。
メールアドレス：http://tabicollege.jp/

④　鉄道及びフェリーによる物流、人流の状況及び活性化

四国における物流、人流の状況（対四国島外）

年度	鉄道による輸送状況		フェリーによる輸送状況	
	輸送人員（千人）	コンテナ（トン）	輸送人員（人）	利用トラック（台）
平成22年度	7,199	495,548	3,784,029	811,055
平成23年度	7,290	503,265	3,827,800	768,599
平成24年度	7,477	493,383	3,643,252	702,254
平成25年度	5,743	368,226	2,655,787	510,835

※平成25年度は、平成25年4月～12月までのもの

四国における物流、人流の活性化

・四国における鉄道、フェリーによる四国島外への輸送量（旅客、貨物）は、減少の傾向にある。
・四国島外との経済交流等を促進することにより、四国経済の拡大を図る必要がある。
・当協議会は、様々な分野での交流促進を図ることにより、経済、生活、文化の一層の発展、向上を目的としており、四国経済の拡大により鉄道、フェリーの物流、人流の増加も期待される。

本州四国連絡高速道路(株)

本四高速(株)の利用促進の取り組み

利用促進のための体制構築

○本四高速道路の利用を促進を図るため、全社を挙げて利用促進に取り組む体制を構築
「本四高速利用促進本部」平成26年2月1日設置

利用促進の取り組み

○経済界、地方公共団体と一体となった利用促進策
各地域の利用促進策と連携・協力しその効果を高める取り組み

○SA・PAの更なる活性化、「せとうち美術館ネットワーク」の一層の利用促進、長大橋等の活用

【淡路SA下りのリニューアル】
床面積 25%増（2,089㎡→2,613㎡）
救護室、ベーカリー等新設

（現況）

（完成予想）

【せとうち美術館ネットワーク】
参加施設：４８箇所
割引券利用者：累計９万人

【ブリッジワールド（明石海峡大橋）】
年間９千人超の参加者

（桁内管理路）

（塔頂約300m）

本四高速